

# 京都ならではの首都機能バックアップについて

【担当省庁】内閣府、国土交通省、観光庁、文部科学省、文化庁

## 京都府・京都市共同提案

### 双京構想の実現

- ◆ 日本の大切な皇室の弥栄のために、皇族の方に京都にお住まいいただくことを願う「双京構想」について、政府として検討していただきたい。

## 京都府・京都市共同提案

### 文化庁・観光庁の京都移転

- ◆ 我が国の文化財の宝庫である京都から、日本文化のすばらしさを一層戦略的に発信するため、京都に文化庁を移転していただきたい。
- ◆ 国内外への情報発信力を飛躍的に高め、観光立国を加速させるため、京都に観光庁を移転していただきたい。

### 国立国会図書館関西館の機能強化

- ◆ 国立国会図書館資料のデジタル化を更に促進し、関西文化学術研究都市地区に立地する国立国会図書館関西館と東京に位置する本館との連携強化を図っていただきたい。

### 文化財保存修復センター、アーカイブセンターの整備

- ◆ 全国の歴史的な文化財が被災・損傷した際のバックアップに資するため、文化財保存修復センター、アーカイブセンターを、文化財の集積する京都府に整備していただきたい。

**京都府の現状・課題等**

◎ 京都の未来を考える懇話会 ～京都ビジョン2040～（抜粋）平成 25 年 5 月 31 日

**世界の文化首都・京都**

皇族の方を京都に迎え、日本文化の裾野を京都から拡大し、多様な人材が活躍する文化のまち

● 双京構想の実現(皇室の弥栄のために、京都にも皇族の方にお住まいいただき、東京との双京を実現する)

● 日本文化の中核都市(文化庁、観光庁の機能を担い、日本文化の継承と発展を支え、観光分野でも日本をけん引する)

(京都の未来を考える懇話会構成メンバー)

山田 啓二 (京都府知事)

門川 大作 (京都市長)

立石 義雄 (京都商工会議所会頭/京都商工会議所連合会会長)

松本 紘 (京都大学総長)

柏原 康夫 (京都府観光連盟会長/京都市観光協会会長)

池坊 由紀 (華道家元池坊次期家元)

白石 方一 (京都新聞社代表取締役会長兼社長)

◎ 国立国会図書館資料デジタル化の状況 (平成 22 年度末)

○ 平成 21 年度補正予算 (デジタル化経費 127 億円) により、和図書、和雑誌、博士論文、古典籍などのデジタル化を実施

資料種別	所蔵数(A)	デジタル化 実施済(B)	デジタル化 未実施	実施割合 (B/A)
古典籍	29万冊	7万冊	22万冊	1/4
和図書	411万冊	90万冊	321万冊	1/5
和雑誌	436万冊	114万冊	322万冊	1/4
博士論文	39万冊	14万冊	25万冊	1/3
合計	915万冊	225万冊	690万冊	1/4

【京都府の担当部局】

政策企画部	戦略企画課	075-414-4334
文化環境部	文化政策課	075-414-4217
商工労働観光部	観光課	075-414-4841